

平成25年度

那須町観光調査
報告書
[概要版]

平成26年3月

那須町

A 調査の目的

地域に点在する観光資源(観光地点)における訪問者の動向を把握し、那須町の観光産業全体像を定量的に把握・可視化する。また、那須町における観光産業の経済波及効果を推計し、観光産業の地域への貢献度を把握する。

B 調査の方法

調査10地点に調査員を配置してのアンケート調査
(調査期間:平成25年8月17日~31日、10月13日)

C 調査の対象

- 栃木県外居住者—宿泊客・日帰り客
- 栃木県内居住者—宿泊客・日帰り客
- ※県内居住者は、県北地域内居住者を除く

1 経済波及効果の推計

A 消費額の推計

観光消費額は、那須町の平成25年版統計書に記載された最新(平成24年)の観光入込客数と調査結果を利用して求める。なお、経済波及効果算出に利用する総消費額は、宿泊客・日帰客の2分類で算出された額とする。

総消費額の推計

	A:構成比(%)	B:入込客数(人)	C:平均消費額単価(円)	D:総消費額(百万円) B*C
宿泊客	34.7%	1,559,558	18,073	28,186
日帰客	65.3%	2,931,842	4,135	12,124
合計	100.0	4,491,400	17,084	40,310

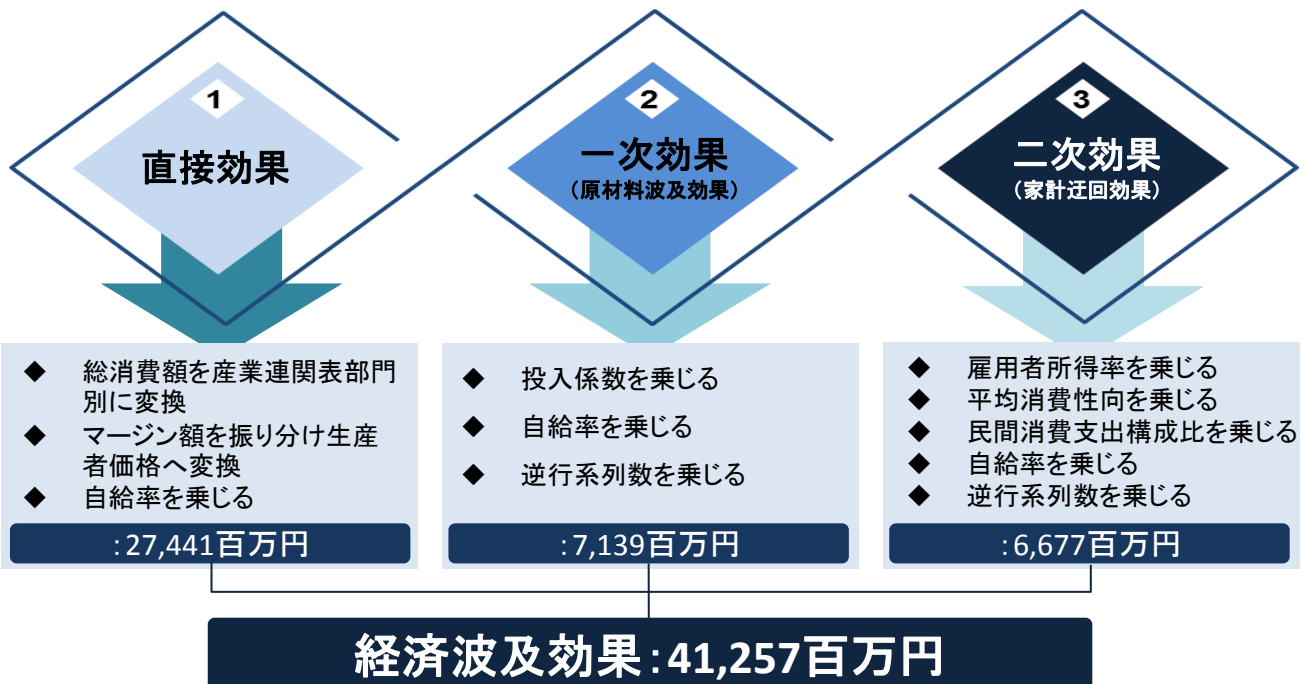
■ 総消費額=40,310百万円

宿泊客	28,186
日帰客	12,124

B 経済波及効果の推計

経済波及効果は、栃木県産業連関表(34部門)を利用した産業連関分析により推計する。

経済波及効果推計の流れ

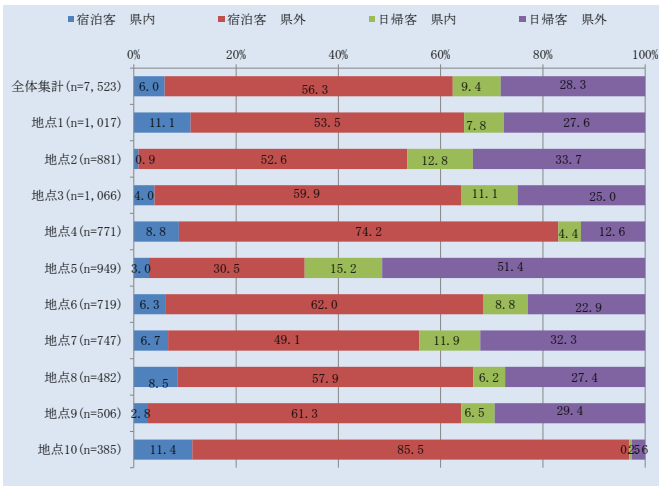


2 那須町に訪問する観光客の旅行形態

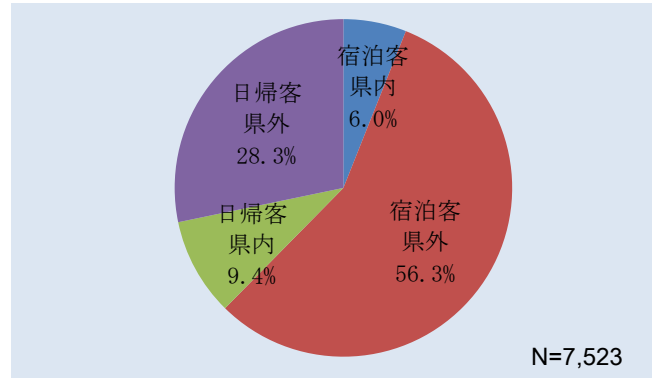
A 旅行形態の比率

旅行形態は、宿泊と日帰りに大別される。那須町では、半分以上の訪問者が県外居住者の宿泊客であることが分かる。また、県内居住者の多くは日帰り旅行で那須町に訪れており、県内居住者の宿泊旅行割合は比較的低いことが見て取れる。地点別にみると、県外宿泊客の比率が大半を占める地点4と地点10、そして県外日帰客の割合が大半を占める地点5が特徴的。

旅行形態の地点別比率



旅行形態の全体比率



旅行形態の比率詳細

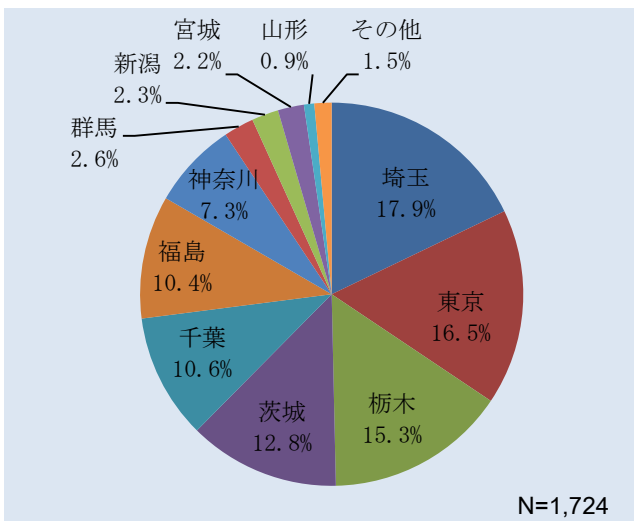
	宿泊客 (%)		日帰客 (%)	
	県内 (%)	県外 (%)	県内 (%)	県外 (%)
全体集計	6.0	56.3	37.7	28.3
地点1	11.1	53.5	35.4	27.6
地点2	0.9	52.6	46.5	33.7
地点3	4.0	59.9	36.1	25.0
地点4	8.8	74.2	17.0	12.6
地点5	3.0	30.5	66.6	51.4
地点6	6.3	62.0	31.7	22.9
地点7	6.7	49.1	44.2	32.3
地点8	8.5	57.9	33.6	27.4
地点9	2.8	61.3	35.9	29.4
地点10	11.4	85.5	3.1	2.6

3 訪問者の居住地

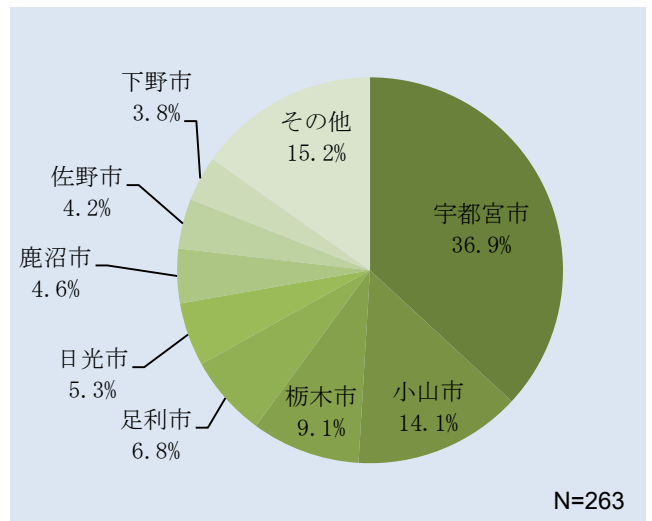
A 居住地

栃木県を除くと、埼玉県・東京都・茨城県・千葉県と関東圏が大半を占めていることが分かる。東北地方では、福島県・宮城県が上位に位置しているが、10%以上の比率を占めるのは福島県のみとなっている。また、県内居住者の多くは宇都宮市で占められている。

全体の居住都道府県

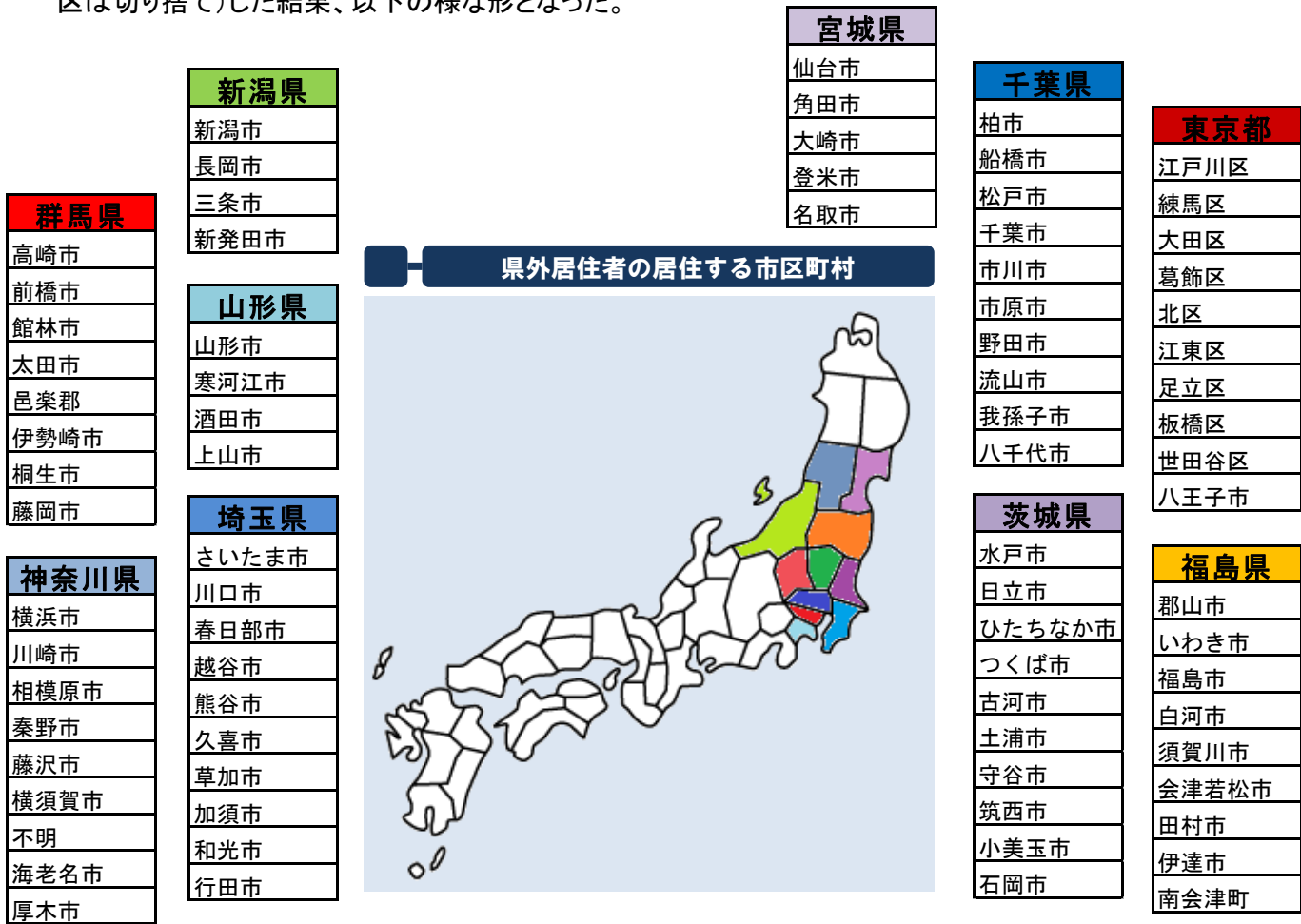


県内居住者の居住市町村



B 県外居住者の居住地—市区町村

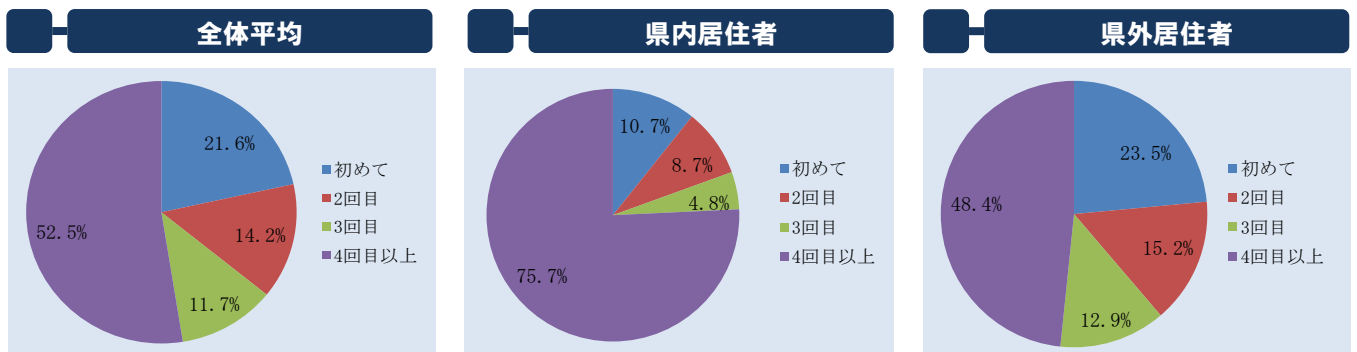
県外居住者の居住する市区町村は、回答数の多かった順番に上位10地区までを整理(回答数1の地区は切り捨て)した結果、以下の様な形となった。



4 訪問経験回数

A 那須町への訪問経験回数

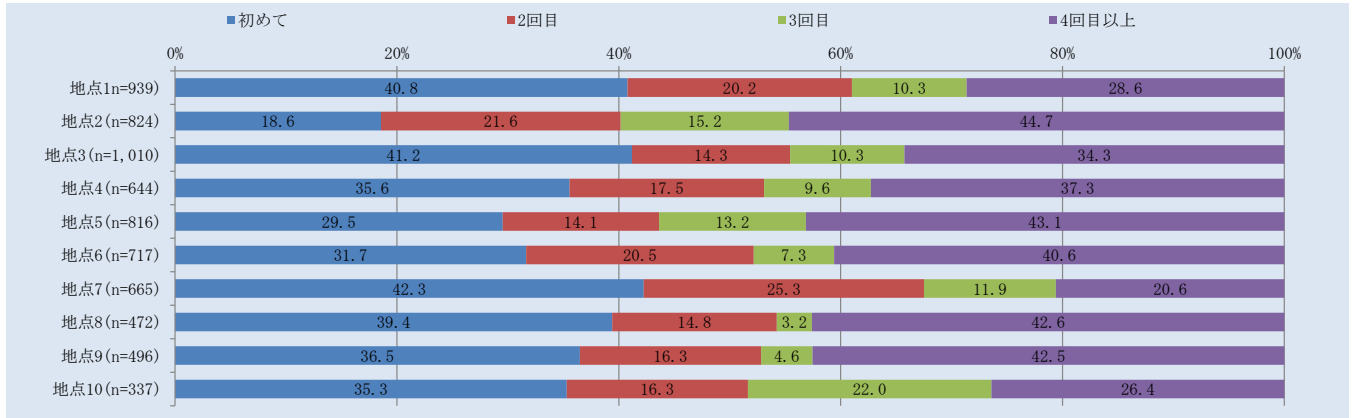
全体では半分以上、県内居住者に限っては4分の3、また県外居住者でも半分近い訪問者が訪問経験4回以上のハードリピーターであることが分かる。県内・県外共に、ほとんどの訪問者は2回目以降の訪問となっており、那須町観光の満足度とリピート率が高いことが見て取れる。



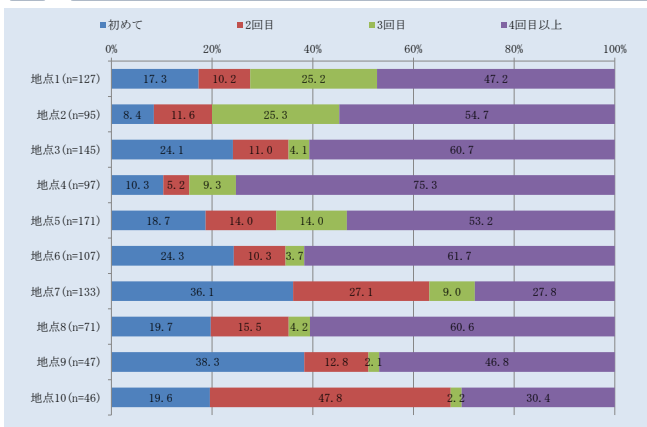
B 各調査地点への訪問経験回数

初めての訪問が比較的多い地点(地点1・地点7など)と、2回目以降のリピーターが多い地点(地点2・地点5)に分かれる。また、全地点とも4回以上訪れている県内居住者の割合が非常に高い。県外居住者は、4回以上訪れたことのある訪問者の割合については県内居住者に比べて低いものの、全ての地点で2回～訪問したことのあるリピーターが半分以上の割合を占めていることが分かる。

全体平均



県内居住者



県外居住者

